

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	防災対策の充実

	所属	職名	氏名
作成者	危機管理課	課長	古幡 彰
評価者	総務部	部長	堀内 猛志

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	安曇野市は、糸魚川静岡構造線断層帯の中北部に位置し、急峻な地形や、脆弱な地質を有しており、台風や異常気象による集中豪雨によって起こる災害や、牛伏寺断層を含む糸魚川-静岡構造線断層帯を震源とする地震など、直下型地震による災害も懸念されています。こうした自然現象や、都市化、高齢化、国際社会化等の社会構造の変化に応じた防災対策を講じていく必要があります。また、核家族化等による家庭や地域の療育・介護機能の低下等に伴い、災害発生時に災害時要援護者が被害を受ける事例が多く見受けられることから、市、県ならびに社会福祉協議会などの関係機関は、地域住民、自主防災組織等の協力を得ながら、災害から災害時要援護者を守るための防災対策の一層の充実が求められています。
基本方針 (目指すべき方向性)	消防・防災体制のさらなる充実を図るとともに、消防団や自主防災組織と連携しながら、市民の防災意識の高揚を図り、災害から市民の生命財産を守る、災害に強いまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
罹災時用備蓄飲食料数	食	30,000	40,000	52,344	59,234	61,154	152.9	予定以上	危機管理課

施策指標の進捗状況と分析	市は、防災の第一義的責任を果たす地方公共団体として、災害発生時における市民の安全・安心を確保することを目的に、災害発生時に必要な食料、飲料水、日用品等の物資や、指定避難所等の開設に必要な資機材の備蓄を進めています。大規模災害発生直後は、流通機能の停止が懸念されることから、住民自らが備蓄に努めてもらうことを基本としますが、市も避難者等のため、支援物資が届くまでの間に、最低限必要となる日用品及び資機材を備蓄する必要があります。施策指標である「罹災時用備蓄飲食料(食)」につきましては、平成29年度の目標値を40,000食としましたが、すでに目標値を超え、61,154食となっておりますが、今後は、賞味期限切れの飲食料も出てくるため、予算の範囲内で、計画的に備蓄飲食料を購入いたします。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化		
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数	
1	0109010	常備消防負担金事業	消防防災係		1,011,983,075	1,009,419,900				2,021,402,975	定型業務	継続		現状のまま事業を実施することが適当	0.1	○
2	0109020	非常備消防運営事業	消防防災係		233,931,822	223,291,067				457,222,889	定型業務	継続		現状のまま事業を実施することが適当	1.2	○
3	0109040	消防施設維持整備事業	消防防災係		119,043,955	79,305,030				198,348,985	施設の管理運営	継続		現状のまま事業を実施することが適当	1.2	
4	0109050	防災行政無線維持整備事業	消防防災係		31,290,163	21,966,859				53,257,022	施設の管理運営			現状のまま事業を実施することが適当	1.2	
5	0109070	緊急告知機能付き防災ラジオ等導入事業	消防防災係			10,934,506	3,658,000	3,658,000		18,250,506	政策的業務	新規	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	○
6	0109080	防災計画策定事業	危機管理担当		24,500	28,000				52,500	義務業務		期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
7	0109090	防災啓発事業	危機管理担当		2,076,661	14,345,329	20,400,000	20,136,000		56,957,990	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	2	
8	0109100	防災組織支援事業	危機管理担当		2,266,293	5,517,098				7,783,391	定型業務		期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1	
9	0109110	防災情報共有化事業	危機管理担当		5,561,496	4,379,976				9,941,472	定型業務		期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
10	0109120	防災広場管理事業	危機管理担当		2,485,288	2,236,842				4,722,130	施設の管理運営		期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
11	0109130	災害対策事業	危機管理担当		33,644,030	24,114,698	36,692,000	23,443,000		117,893,728	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1	○
12	0109140	災害対策総務費	危機管理担当		1,478,688	2,260,550				3,739,238	定型業務		期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	0.5	
合計					1,443,785,971	1,397,799,855	60,750,000	47,237,000		2,949,572,826						

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	想定する被害は、第3次長野県地震被害想定調査報告書(平成27年3月)に基づき、本市で起こりうる最大規模の地震である「糸魚川-静岡構造線断層帯(全体)」を震源とする地震が、風が強く吹いている冬の日の18時に発生したものととして、想定被災者数を備蓄目標数の根拠としております。また、これらの備蓄品でも不足する場合は、県からの援助物資、応援協定等による流通備蓄により対応いたします。
重点化事務事業の考え方	市民生活に甚大な被害を及ぼす恐れのある大規模災害に備え、また、対応するため、東日本大震災や熊本地震などの大規模災害の経験を教訓に、近年の社会構造の変化を踏まえた中で、「地域防災計画」の見直しを行い、危機管理体制の強化に努めます。
縮減・廃止事務事業の考え方	

平成29年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	防災対策の充実

	所属	職名	氏名
作成者	危機管理課	課長	古幡 彰
評価者	総務部	部長	堀内 猛志

総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	<p>防災訓練の実施や、出前講座、または防災講演会の開催を通して、自主防災力の向上に努めるとともに、防災意識の高揚を図ります。また、防災拠点の整備に努めるとともに、災害発生時に必要な食料、飲料水、日用品等の物資や、指定避難所等の開設に資する資機材の備蓄を進めます。特に、想定避難者に配布する食料、飲料水、日用品の備蓄目標数は、年代を考慮して算出してありますが、災害発生時には水洗トイレが使用できない事態が想定されるため、水がなくても使用できる携帯トイレなどを計画的に購入する必要があります。そのほか、乳幼児用粉ミルク、哺乳ビン、身の回り用品等については、流通業者との災害協定による調達を検討しておりますので、今後も、積極的に、災害協定を締結していく必要があると考えております。</p>
-------------------------	--